

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

PA505/US
TANAKA
September 25, 2003
BSKB, LLP
703205-8000
2091-0296P

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて2002
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2003年 3月24日

出 願 番 号

Application Number:

特願2003-079580

[ST.10/C]:

[JP2003-079580]

出 願 人

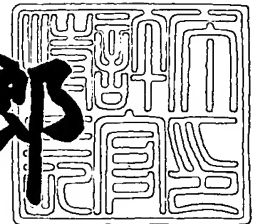
Applicant(s):

富士写真フイルム株式会社

2003年 4月18日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田信一郎



出証番号 出証特2003-3028689

【書類名】 特許願
 【整理番号】 P27372JK
 【あて先】 特許庁長官殿
 【国際特許分類】 G06F 3/12

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 田中 圭介

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100073184

【弁理士】

【氏名又は名称】 柳田 征史

【選任した代理人】

【識別番号】 100090468

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐久間 剛

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2002-284133

【出願日】 平成14年 9月27日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008969

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9814441

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プリントサービス提供システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像と文字とを合成した合成画像をプリントするためのプリントサービスを提供するプリントサービス提供装置と、ネットワークを介して該プリントサービス提供装置と接続された前記プリントサービスを利用するユーザ端末とからなり、

前記プリントサービス提供装置が、前記合成画像を作成するためのテンプレートを記憶するテンプレート記憶手段と、前記ユーザ端末からのテンプレート送信要求に応じて、要求されたテンプレートを前記テンプレート記憶手段から読み出して前記ユーザ端末に送信するテンプレート送信手段とを備え、

前記ユーザ端末が、送信された前記テンプレートに従って、前記画像に合成する文字を入力して前記プリントサービス提供装置に送信する文字入力手段を備え、

前記プリントサービス提供装置が、前記ユーザ端末から受信した文字を前記テンプレートを用いて画像と合成する合成画像作成手段と、該合成画像作成手段で合成した合成画像のイメージデータを作成して前記ユーザ端末に送信するイメージデータ送信手段とを備えてなるプリントサービス提供システムにおいて、

前記プリントサービス提供装置が、前記イメージデータとともに、前記ユーザ端末から入力した文字の文字部分の拡大をユーザ端末で指示するための指示画面のデータを前記ユーザ端末に送信する指示画面データ送信手段と、

前記ユーザ端末で指示された文字部分の拡大イメージデータを作成して、該ユーザ端末に送信する拡大イメージ送信手段をさらに備えたことを特徴とするプリントサービス提供システム。

【請求項 2】 前記ユーザ端末の前記文字入力手段が、入力した文字を文字コードで前記プリントサービス提供装置に送信するものであり、

前記プリントサービス提供装置の合成画像作成手段が、文字コードを文字に変換する日本語文字変換プログラムを有し、前記ユーザ端末から受信した文字コードを前記日本語文字変換プログラムで文字に変換して合成画像を合成するもので

あることを特徴とする請求項 1 記載のプリントサービス提供システム。

【請求項 3】 画像と文字とを合成した合成画像をプリントするためのプリントサービスを利用するユーザ端末とネットワークで接続されたプリントサービス提供装置であって、

前記合成画像を作成するためのテンプレートを記憶するテンプレート記憶手段と、

前記ユーザ端末からのテンプレート送信要求に応じて、要求されたテンプレートを前記テンプレート記憶手段から読み出して前記ユーザ端末に送信するテンプレート送信手段と、

送信した前記テンプレートに従って前記ユーザ端末で入力された前記画像に合成する文字を、前記ユーザ端末から受信し、該受信した文字を前記テンプレートを用いて画像と合成する合成画像作成手段と、

該合成画像作成手段で作成した合成画像のイメージデータを作成して前記ユーザ端末に送信するイメージデータ送信手段とを備えてなるプリントサービス提供装置において、

前記イメージデータとともに、前記ユーザ端末から入力した文字の文字部分の拡大をユーザ端末で指示するための指示画面のデータを前記ユーザ端末に送信する指示画面データ送信手段と、

前記ユーザ端末から指示された文字部分の拡大イメージデータを作成して、該ユーザ端末に送信する拡大イメージ送信手段とを備えたことを特徴とするプリントサービス提供装置。

【請求項 4】 前記合成画像作成手段が、文字コードを文字に変換する日本語文字変換プログラムを有し、

前記ユーザ端末で入力された文字を文字コードで受信して、該文字コードを前記日本語文字変換プログラムで文字に変換して合成画像に合成するものであることを特徴とする請求項 3 記載のプリントサービス提供装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを利用したプリントサービスに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

近年、インターネットの普及に伴いWeb上で提供される画像を利用して、画像と文字と組み合わせた合成画像をプリントしてポストカード等を作成するためのサービスシステムが提供されるようになってきた。そのようなシステムでは、挨拶文や住所等の文字の部分はユーザが各自の端末から入力し、提供されたコンテンツの画像と組み合わせて合成画像を作成するようになっている。

【0003】

また、このようなシステムには、ユーザの画像とテンプレートとを合成するようにしたものもあり、その場合、合成する時にユーザ画像とテンプレートとの相性を予め確認できるようにしたものがある（例えば、特許文献1参照）。

【0004】

【特許文献1】

特開2001-285608

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

このようなテンプレートを使って文字と画像とを合成した合成画像をプリントしてポストカード等を作成する場合に、仕上がったポストカードにユーザが設定した文字と違う文字が印刷される場合があった。これは、ユーザのパソコンとサーバとでは、用意している日本語文字変換プログラム（フロントエンドプロセッサ等で用意されるもの）が必ずしも同じではないため、ユーザが利用するパソコンで正常に表示された文字コード（例えば、JIS第3水準の文字やユーザが外字登録したもの）が、実際のポストカードには別の文字で印刷されることがあるからである。また、ユーザが文字を入力する際、入力ミスをし、それに気がつかずに合成された画像をプリントする場合もある。

【0006】

これらの問題は、Web上で表示されたイメージでは解像度が低く、合成された画像を見ても文字をはっきりと確認することができないために防ぐことが困難

である。これを防ぐために、もし解像度の高い画像を載せることができれば、拡大しても画像が劣化することなく文字の確認ができるようになるが、著作権上保護されるべきキャラクターコンテンツも劣化することなく拡大されることになり、不正利用につながる。そのため、キャラクターコンテンツが拡大されるような解像度の高い画像を載せることはできなかった。

【 0 0 0 7 】

本発明はこの課題に鑑みて、著作権のあるキャラクター等を拡大することなく、ユーザが入力した文字の部分の確認ができるシステムを提供することを目的とするものである。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

本発明のプリントサービス提供システムは、画像と文字とを合成した合成画像をプリントするためのプリントサービスを提供するプリントサービス提供装置と、ネットワークを介して該プリントサービス提供装置と接続された前記プリントサービスを利用するユーザ端末とからなり、

前記プリントサービス提供装置が、前記合成画像を作成するためのテンプレートを記憶するテンプレート記憶手段と、前記ユーザ端末からのテンプレート送信要求に応じて、要求されたテンプレートを前記テンプレート記憶手段から読み出して前記ユーザ端末に送信するテンプレート送信手段とを備え、

前記ユーザ端末が、送信された前記テンプレートに従って、前記画像に合成する文字を入力して前記プリントサービス提供装置に送信する文字入力手段を備え、

前記プリントサービス提供装置が、前記ユーザ端末から受信した文字を前記テンプレートを用いて画像と合成する合成画像作成手段と、該合成画像作成手段で合成した合成画像のイメージデータを作成して前記ユーザ端末に送信するイメージデータ送信手段とを備えてなるプリントサービス提供システムにおいて、

前記プリントサービス提供装置が、前記イメージデータとともに、前記ユーザ端末から入力した文字の文字部分の拡大をユーザ端末で指示するための指示画面のデータを前記ユーザ端末に送信する指示画面データ送信手段と、

前記ユーザ端末で指示された文字部分の拡大イメージデータを作成して、該ユーザ端末に送信する拡大イメージ送信手段をさらに備えたことを特徴とするものである。

【0009】

ここで、「プリントサービス提供装置」は、サーバコンピュータで、インターネット等のネットワークを介したサービスの提供が可能なものでWebサーバ等の機能を備えたものである。

【0010】

また、「ユーザ端末」は、パソコンや携帯端末等のコンピュータで、サーバコンピュータが提供するサービスをネットワークを介して利用するために、Webブラウザ等の閲覧機能を備えたものである。

【0011】

「ネットワーク」は、インターネット、イントラネット、LAN (Local Area Network)、WAN (Wide Area Network)、ポイントツーポイント接続等の様々なネットワークを利用することが可能である。

【0012】

また、「合成画像」は、ポストカードや挨拶状等の画像と文字とを組み合わせで構成したもので、「合成画像のイメージデータ」とは、ユーザ端末で合成画像の仕上りが確認できるように合成画像を視認できる画像イメージをデータ化したものである。

【0013】

「テンプレート」は、所定のフォーマットに文字や画像を挿入する場所や大きさが決められたもので、これに従って、文字や画像を挿入して合成画像を作成するものである。また、テンプレート自体にキャラクター等の画像が予め掲載されている場合もある。

【0014】

「指示画面」とは、マウス等のポインティングデバイスやキーボード等で、画面上のボタンでの指示や設定された領域の指示ができるように構成された画面で、「指示画面のデータ」とは、指示するためのボタンや指示領域等のデータであ

る。

【 0 0 1 5 】

前記プリントサービス提供装置の合成画像作成手段は、文字コードを文字に変換する日本語文字変換プログラムを有し、ユーザ端末から受信した文字コードを日本語文字変換プログラムで文字に変換して合成画像を合成するものであってもよい。

【 0 0 1 6 】

「日本語文字変換プログラム」は、J I SやA S C I Iで定められる文字コードを印刷装置で印字する文字や表示装置等に表示される文字等に変換するプログラムで、「文字コードを前記日本語文字変換プログラムで文字に変換」とは、日本語文字変換プログラムを用いて、J I SやA S C I Iで定められる文字コードから明朝体やゴシック体等の書体の文字に変換することである。

【 0 0 1 7 】

本発明のプリントサービス提供装置は、画像と文字とを合成した合成画像をプリントするためのプリントサービスを利用するユーザ端末とネットワークで接続されたプリントサービス提供装置であって、

前記合成画像を作成するためのテンプレートを記憶するテンプレート記憶手段と、

前記ユーザ端末からのテンプレート送信要求に応じて、要求されたテンプレートを前記テンプレート記憶手段から読み出して前記ユーザ端末に送信するテンプレート送信手段と、

送信した前記テンプレートに従って前記ユーザ端末で入力された前記画像に合成する文字を、前記ユーザ端末から受信し、該受信した文字を前記テンプレートを用いて画像と合成する合成画像作成手段と、

該合成画像作成手段で作成した合成画像のイメージデータを作成して前記ユーザ端末に送信するイメージデータ送信手段とを備えてなるプリントサービス提供装置において、

前記イメージデータとともに、前記ユーザ端末から入力した文字の文字部分の拡大をユーザ端末で指示するための指示画面のデータを前記ユーザ端末に送信す

る指示画面データ送信手段と、

前記ユーザ端末から指示された文字部分の拡大イメージデータを作成して、該ユーザ端末に送信する拡大イメージ送信手段とを備えたことを特徴とするものである。

【0018】

【発明の効果】

本発明のプリントサービス提供システムによれば、ユーザ端末でテンプレートに従って画像と文字を合成して作成し、合成画像の文字部分のみを拡大して見ることができるので、著作権のあるキャラクターコンテンツを利用したテンプレートを利用している場合も、文字部分のみを拡大して入力された文字に間違いがないかを確認することができる。

【0019】

さらに、合成画像に合成する文字が日本語変換プログラムの違いによって不正な文字になったことも確認することができる。

【0020】

【発明の実施の形態】

以下、本発明のプリントサービス提供システムについて、図面を参照して詳細に説明する。図1は、本発明の写真画像データの保管活用システムの概要を示す図である。図1に示すように、このプリントサービス提供システム1は、合成画像をプリントするためのプリントサービスを提供するプリントサービス提供装置2と、プリントサービスを利用するユーザ端末3とがネットワーク4を介して接続されて構成される。

【0021】

プリントサービス提供装置2は、Webサーバソフトウェア21を備えたサーバコンピュータで、インターネット等のネットワークを介してプリントサービスの提供を行うものである。このプリントサービス提供装置2は、画像と文字とを合成した合成画像240を作成するためのテンプレート220を記憶するテンプレート記憶手段22と、ユーザ端末3から入力された文字や画像をテンプレート220に基づいて合成画像240を合成する合成画像作成手段24と、ユーザ端

末 3 で合成画像 2 4 0 を確認できるようなイメージデータを作成するイメージデータ作成手段 2 5 と、ユーザ端末 3 からイメージデータの文字部分の拡大が指示できるようにする指示画面データ送信手段 2 6 と、文字部分の拡大イメージを作成する拡大イメージ作成手段 2 7 と、拡大イメージをユーザ端末 3 に送信する拡大イメージ送信手段 2 8 とを備える。

【 0 0 2 2 】

ユーザ端末 3 は、We b ブラウザ 3 1 等の閲覧ソフトウェアを備え、表示装置に表示された画面を確認しながらインターネット等のネットワーク 4 を介してプリントサービスの利用が可能なパソコンや携帯端末等であり、このユーザ端末 3 からプリントサービス提供装置 2 にアクセスして、テンプレート 2 2 0 に従って合成画像 2 4 0 を作成し、合成した文字の入力や画像の送信を行う文字入力手段を備える。

【 0 0 2 3 】

また、プリントサービス提供装置 2 とユーザ端末 3 には、日本語文字変換プログラムがフロントエンドプロセッサ等として用意されている。

【 0 0 2 4 】

ここで、プリントサービス提供装置 2 について、さらに詳細に説明する。まず、テンプレート 2 2 0 は、図 2 に示すように、合成画像 2 4 0 に合成する画像や文字を入力する部分の位置や枠等が設定されたもので、画像を挿入する画像挿入部 2 2 2 や、文字の入力を行なう文字入力部 2 2 3、2 2 4 を備えたものである。画像挿入部 2 2 2 には、ユーザ端末 3 からアップロードした画像データを挿入したり、予め用意されているコンテンツから画像データを選択して挿入してもよい。あるいは、テンプレート 2 2 0 自体に予めキャラクター等の画像 2 2 1 が掲載されている場合もある。

【 0 0 2 5 】

合成画像作成手段 2 4 では、ユーザ端末 3 で選択したテンプレート 2 2 0 と、テンプレート 2 2 0 に挿入する画像データと、ユーザ端末 3 から入力された文字とを合成して合成画像 2 4 0 を作成する。このとき、ユーザ端末 3 から入力された文字は文字コード（例えば、J I S コード、A S C I I コード等）で受信し、

その文字コードを指定された書式（フォント、スタイル、大きさ等）の文字に変換して合成画像 2 4 0 を作成する。そのため、ユーザ端末 3 の日本語文字変換プログラムで備えている文字コードであってもプリントサービス提供装置 2 には備えていない文字コードの場合は、正確な文字にならない場合がある。具体的には、ユーザ端末 3 が J I S 第 3 水準まで対応しているが、プリントサービス提供装置 2 には J I S 第 2 水準までしか対応していない場合や、ユーザ端末 3 のみに登録される外字等がある。

【 0 0 2 6 】

イメージデータ作成手段 2 5 では、合成した合成画像 2 4 0 をイメージデータ 2 4 1（例えば、Gif、Jpeg、bitmap等）に変換し、ユーザ端末 3 で合成画像 2 4 0 の仕上りが確認できるようにイメージデータ 2 4 1 を掲載した仕上がり確認画面 3 0 0 を作成する。図 3 は、画像挿入部 2 2 2 に挿入した画像データと、文字入力部 2 2 3、2 2 4 で入力した文字が合成されたイメージデータ 2 4 1 を仕上がり確認画面 3 0 0 に掲載した一例を示すものである。テンプレート 2 2 0 にキャラクター等の画像 2 2 1 が付されている場合には、その画像 2 2 1 もイメージデータ 2 4 1 に合成される。

【 0 0 2 7 】

この仕上がり確認画面 3 0 0 を、ユーザ端末 3 に送信するときは仕上がり確認画面 3 0 0 の表示が速やかに行えるように、解像度が低いイメージデータ 2 4 1 で送信する方が好ましい。また、テンプレート 2 2 0 に予めキャラクター等の画像 2 2 1 が掲載されている場合には、解像度が高いイメージデータ 2 4 1 を送信すると、ユーザ端末 3 でこのイメージデータ 2 4 1 を拡大表示することが可能になり、キャプチャー等のソフトウェアを利用して不正利用につながる可能性もある。そのため、イメージデータ 2 4 1 は仕上りのイメージがわかる程度の解像度の低いものの方が好ましいが、解像度が低いとユーザが入力した文字の細かい部分の確認が行えない場合がある。

【 0 0 2 8 】

そこで、指示画面データ送信手段 2 6 では、合成画像 2 4 0 のイメージデータ 2 4 1 の文字部分 2 2 3、2 2 4 のみを拡大指示を行えるようにした仕上がり確

認画面 3 0 0 を、ユーザ端末 3 に送信するようにしている。具体的には、図 3 に示すように、仕上がり確認画面 3 0 0 上に拡大する文字部分を指示するボタン 2 4 2 を設ける。あるいは、拡大する文字部分 2 2 3、2 2 4 の領域をマウス等のポインティングデバイスで指示することができるようにしてもよい。

【 0 0 2 9 】

このボタン 2 4 2 等で文字の拡大表示をすると、拡大イメージ作成手段 2 7 では、合成画像 2 4 0 の文字部分 2 2 3、2 2 4 の拡大イメージを作成する。図 4、図 5 に文字部分の拡大イメージの例を示す。文字部分の拡大イメージを作成する際には、背景および文字色を固定で表示してもよいが、挨拶文、差出人情報の指定エリアは予め決まっているため、指定エリアを切り出した画像を予め用意しておき、その画像に文字を合成することで、実際のプリント画像と同様の仕上り文字部分を確認できるようにしてもよい。さらに、指定された文字色を反映するようした方が望ましい。

【 0 0 3 0 】

拡大イメージデータ送信手段 2 8 では、ユーザ端末 3 から文字部分 2 2 3、2 2 4 の拡大の指示を受信すると、拡大イメージ作成手段 2 7 で作成した拡大イメージ（図 4、図 5）をユーザ端末に送信する。また、この拡大イメージは別ウィンドウで表示するように送信してもよい。

【 0 0 3 1 】

次に、プリントサービス提供システム 1 の動作について図 6 のフローチャートを用いて説明する。

【 0 0 3 2 】

まず、ユーザ端末 3 からプリントサービス提供装置 2 にアクセスすると（S 1 0 0）、プリントサービス提供装置 2 からテンプレート 2 2 0 の一覧が送信され（S 2 0 0）、ユーザ端末 3 に表示する。ユーザ端末 3 で、表示された一覧から作成したい合成画像 2 4 0 に合うテンプレート 2 2 0 を選択すると（S 1 0 1）、プリントサービス提供装置 2 では、テンプレート記憶手段 2 2 から選択されたテンプレート 2 2 0 をユーザ端末 3 に送信する（S 2 0 1）。このとき、合成する画像データのコンテンツ等も同時に送信するようにしてもよい。

【0033】

ユーザ端末3では受信したテンプレート220やコンテンツを画面に表示し、テンプレート220（図2）に従って、画像挿入部222に挿入する画像データ（例えば、デジタルカメラで撮影した画像データ）をプリントサービス提供装置2にアップロードする。あるいは、コンテンツの中から画像データを選択してもよい。さらに、文字入力部223、224に挨拶文や住所等の文字を入力する。例えば、図7、図8に示すようなフォームを表示して、挨拶文や住所を入力し、さらに書式の指定や文字の色の指定等を行う（S102）。

【0034】

プリントサービス提供装置2では、ユーザ端末3で選択した画像データやフォームから入力した文字を受信して、合成画像作成手段24で画像データと入力文字を合成した合成画像240を作成する。また、ユーザ端末3から入力した文字は文字コードで受信し、日本語文字変換プログラムで変換して指定された書式で合成画像240を合成する（S202）。

【0035】

そこで、ユーザ端末3から合成画像240が確認できるように、イメージデータ作成手段25で、図3に示すような合成画像240のイメージデータ241を作成し（S203）、指示画面データ送信手段26で文字部分の拡大指示ができるようなボタン242を掲載した仕上がり確認画面300を作成して（S204）、ユーザ端末3に送信する（S205）。

【0036】

ユーザ端末3では、イメージデータ241を受信して合成画像240を確認する。そこで、合成画像240の文字部分223、224を拡大したい場合には、仕上がり確認画面300から拡大する文字を指示すると（S103）、プリントサービス提供装置2では、指示された文字部分の図4や図5に示すような拡大イメージを拡大イメージ作成手段27で作成して（S206）、拡大イメージデータ送信手段28でユーザ端末3に送信する（S207）。ユーザ端末3では、拡大イメージを表示して文字の確認を行う（S104）。図4は差出人の部分224を表示した例で、図5は挨拶文223を表示した例である。イメージデータ2

4 1 では確認できなかった文字化けや入力ミスが拡大することによって確認することができる。

【 0 0 3 7 】

以上説明したように、文字の部分のみを拡大することにより、キャラクター等の拡大表示が好ましくない部分を拡大しないで、文字の細かい部分を確認することを可能にすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

プリントサービス提供システムの概要を示す図

【図 2】

テンプレートを説明するための図

【図 3】

仕上がり確認画面の一例を表す図

【図 4】

住所を拡大した一例を表す図

【図 5】

挨拶文を拡大した一例を表す図

【図 6】

プリントサービス提供システムの動作を表すスローチャート

【図 7】

挨拶文入力フォームの一例を表す図

【図 8】

住所入力フォームの一例を表す図

【符号の説明】

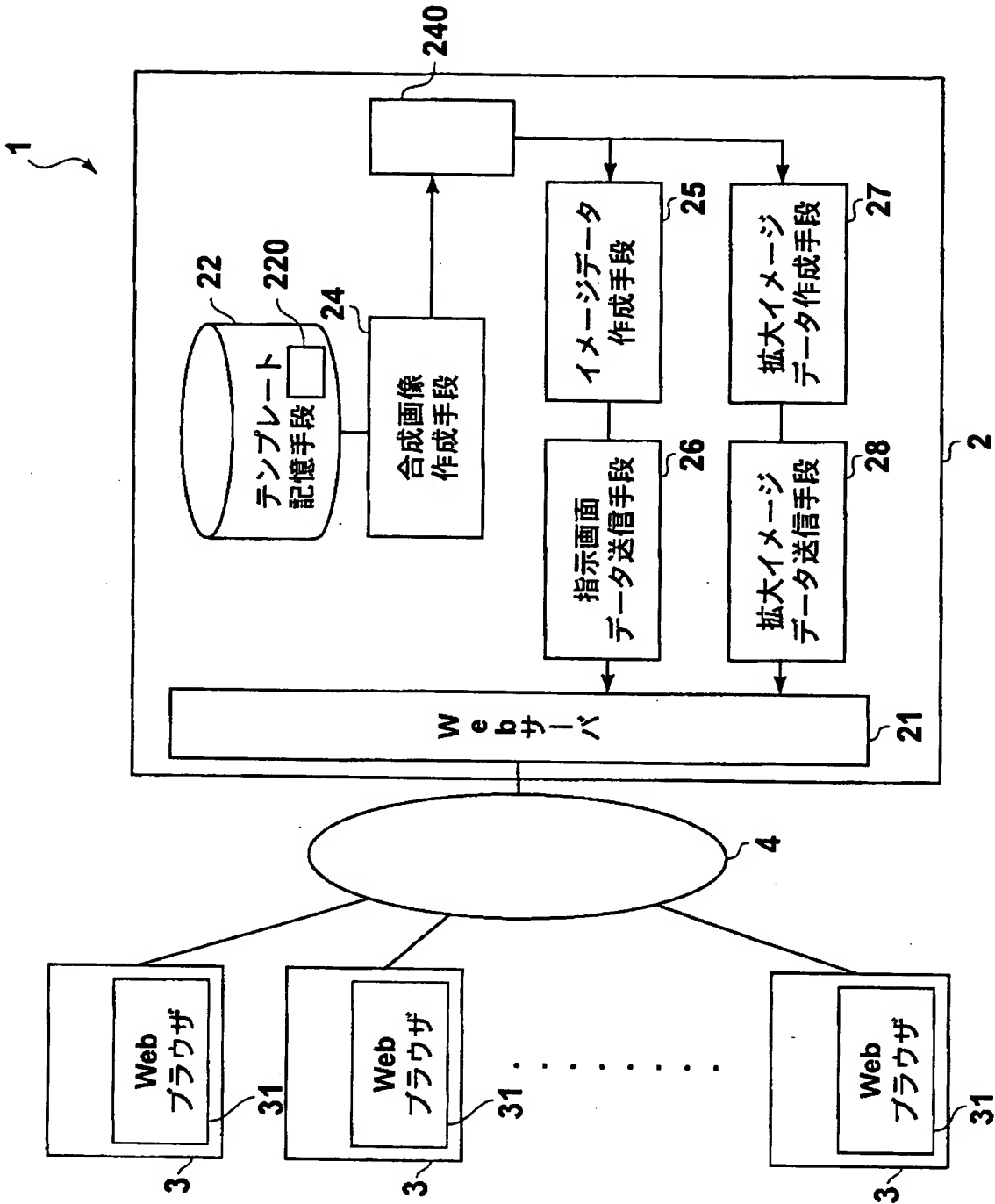
- 1 プリントサービス提供システム
- 2 プリントサービス提供装置
- 3 ユーザ端末
- 4 ネットワーク
- 21 W e bサーバソフトウェア

- 22 テンプレート記憶部
- 24 合成画像作成手段
- 25 イメージデータ作成手段
- 26 指示画面データ送信手段
- 27 拡大イメージ作成手段
- 28 拡大イメージ送信手段
- 31 W e b ブラウザ
- 220 テンプレート
- 240 合成画像
- 221 画像
- 222 画像挿入部
- 241 イメージデータ
- 242 ボタン

【書類名】

図面

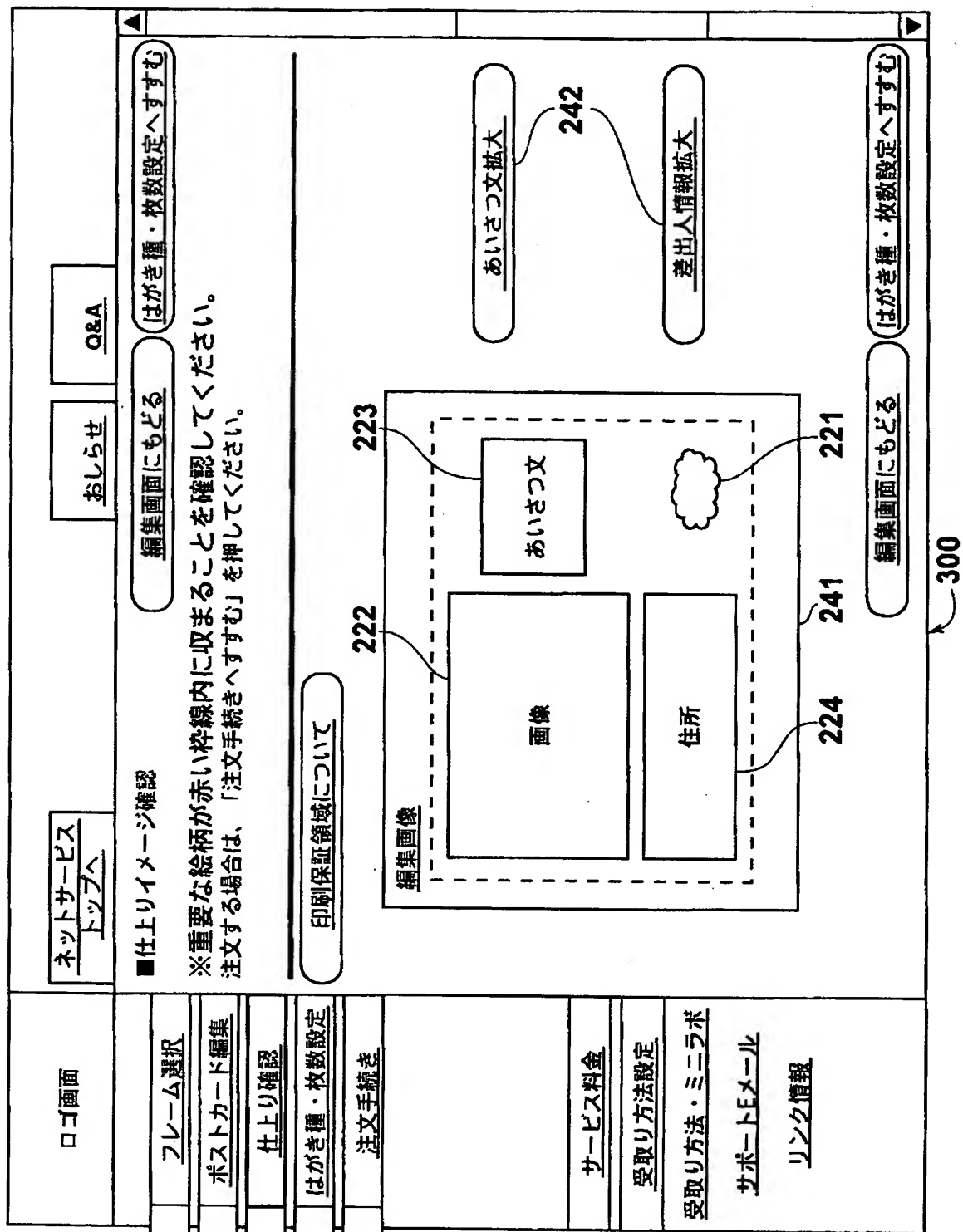
【図 1】



【図2】

ロゴ画面	<div>ネットサービス トップへ</div> <div>おしらせ</div> <div>Q&A</div>	
フレーム選択	<div>■ポストカード編集</div> <div>フレーム再選択</div> <div>仕上り確認へすすむ</div>	
ポストカード編集	<p>作業完了後は「仕上り確認へすすむ」を押してください。 表示されている画像は、編集するため画質を落としています。プリントイメージは仕上り確認 画像で確認してください。</p>	
仕上り確認	<div>222</div> <div>編集画像</div> <div>223</div> <div>224</div> <div>220</div> <div>221</div> <div>225</div> <div>226</div> <div>227</div> <div>228</div> <div>229</div> <div>230</div> <div>231</div> <div>232</div> <div>233</div> <div>234</div> <div>235</div> <div>236</div> <div>237</div> <div>238</div> <div>239</div> <div>240</div> <div>241</div> <div>242</div> <div>243</div> <div>244</div> <div>245</div> <div>246</div> <div>247</div> <div>248</div> <div>249</div> <div>250</div> <div>251</div> <div>252</div> <div>253</div> <div>254</div> <div>255</div> <div>256</div> <div>257</div> <div>258</div> <div>259</div> <div>260</div> <div>261</div> <div>262</div> <div>263</div> <div>264</div> <div>265</div> <div>266</div> <div>267</div> <div>268</div> <div>269</div> <div>270</div> <div>271</div> <div>272</div> <div>273</div> <div>274</div> <div>275</div> <div>276</div> <div>277</div> <div>278</div> <div>279</div> <div>280</div> <div>281</div> <div>282</div> <div>283</div> <div>284</div> <div>285</div> <div>286</div> <div>287</div> <div>288</div> <div>289</div> <div>290</div> <div>291</div> <div>292</div> <div>293</div> <div>294</div> <div>295</div> <div>296</div> <div>297</div> <div>298</div> <div>299</div> <div>300</div> <div>301</div> <div>302</div> <div>303</div> <div>304</div> <div>305</div> <div>306</div> <div>307</div> <div>308</div> <div>309</div> <div>310</div> <div>311</div> <div>312</div> <div>313</div> <div>314</div> <div>315</div> <div>316</div> <div>317</div> <div>318</div> <div>319</div> <div>320</div> <div>321</div> <div>322</div> <div>323</div> <div>324</div> <div>325</div> <div>326</div> <div>327</div> <div>328</div> <div>329</div> <div>330</div> <div>331</div> <div>332</div> <div>333</div> <div>334</div> <div>335</div> <div>336</div> <div>337</div> <div>338</div> <div>339</div> <div>340</div> <div>341</div> <div>342</div> <div>343</div> <div>344</div> <div>345</div> <div>346</div> <div>347</div> <div>348</div> <div>349</div> <div>350</div> <div>351</div> <div>352</div> <div>353</div> <div>354</div> <div>355</div> <div>356</div> <div>357</div> <div>358</div> <div>359</div> <div>360</div> <div>361</div> <div>362</div> <div>363</div> <div>364</div> <div>365</div> <div>366</div> <div>367</div> <div>368</div> <div>369</div> <div>370</div> <div>371</div> <div>372</div> <div>373</div> <div>374</div> <div>375</div> <div>376</div> <div>377</div> <div>378</div> <div>379</div> <div>380</div> <div>381</div> <div>382</div> <div>383</div> <div>384</div> <div>385</div> <div>386</div> <div>387</div> <div>388</div> <div>389</div> <div>390</div> <div>391</div> <div>392</div> <div>393</div> <div>394</div> <div>395</div> <div>396</div> <div>397</div> <div>398</div> <div>399</div> <div>400</div> <div>401</div> <div>402</div> <div>403</div> <div>404</div> <div>405</div> <div>406</div> <div>407</div> <div>408</div> <div>409</div> <div>410</div> <div>411</div> <div>412</div> <div>413</div> <div>414</div> <div>415</div> <div>416</div> <div>417</div> <div>418</div> <div>419</div> <div>420</div> <div>421</div> <div>422</div> <div>423</div> <div>424</div> <div>425</div> <div>426</div> <div>427</div> <div>428</div> <div>429</div> <div>430</div> <div>431</div> <div>432</div> <div>433</div> <div>434</div> <div>435</div> <div>436</div> <div>437</div> <div>438</div> <div>439</div> <div>440</div> <div>441</div> <div>442</div> <div>443</div> <div>444</div> <div>445</div> <div>446</div> <div>447</div> <div>448</div> <div>449</div> <div>450</div> <div>451</div> <div>452</div> <div>453</div> <div>454</div> <div>455</div> <div>456</div> <div>457</div> <div>458</div> <div>459</div> <div>460</div> <div>461</div> <div>462</div> <div>463</div> <div>464</div> <div>465</div> <div>466</div> <div>467</div> <div>468</div> <div>469</div> <div>470</div> <div>471</div> <div>472</div> <div>473</div> <div>474</div> <div>475</div> <div>476</div> <div>477</div> <div>478</div> <div>479</div> <div>480</div> <div>481</div> <div>482</div> <div>483</div> <div>484</div> <div>485</div> <div>486</div> <div>487</div> <div>488</div> <div>489</div> <div>490</div> <div>491</div> <div>492</div> <div>493</div> <div>494</div> <div>495</div> <div>496</div> <div>497</div> <div>498</div> <div>499</div> <div>500</div> <div>501</div> <div>502</div> <div>503</div> <div>504</div> <div>505</div> <div>506</div> <div>507</div> <div>508</div> <div>509</div> <div>510</div> <div>511</div> <div>512</div> <div>513</div> <div>514</div> <div>515</div> <div>516</div> <div>517</div> <div>518</div> <div>519</div> <div>520</div> <div>521</div> <div>522</div> <div>523</div> <div>524</div> <div>525</div> <div>526</div> <div>527</div> <div>528</div> <div>529</div> <div>530</div> <div>531</div> <div>532</div> <div>533</div> <div>534</div> <div>535</div> <div>536</div> <div>537</div> <div>538</div> <div>539</div> <div>540</div> <div>541</div> <div>542</div> <div>543</div> <div>544</div> <div>545</div> <div>546</div> <div>547</div> <div>548</div> <div>549</div> <div>550</div> <div>551</div> <div>552</div> <div>553</div> <div>554</div> <div>555</div> <div>556</div> <div>557</div> <div>558</div> <div>559</div> <div>560</div> <div>561</div> <div>562</div> <div>563</div> <div>564</div> <div>565</div> <div>566</div> <div>567</div> <div>568</div> <div>569</div> <div>570</div> <div>571</div> <div>572</div> <div>573</div> <div>574</div> <div>575</div> <div>576</div> <div>577</div> <div>578</div> <div>579</div> <div>580</div> <div>581</div> <div>582</div> <div>583</div> <div>584</div> <div>585</div> <div>586</div> <div>587</div> <div>588</div> <div>589</div> <div>590</div> <div>591</div> <div>592</div> <div>593</div> <div>594</div> <div>595</div> <div>596</div> <div>597</div> <div>598</div> <div>599</div> <div>600</div> <div>601</div> <div>602</div> <div>603</div> <div>604</div> <div>605</div> <div>606</div> <div>607</div> <div>608</div> <div>609</div> <div>610</div> <div>611</div> <div>612</div> <div>613</div> <div>614</div> <div>615</div> <div>616</div> <div>617</div> <div>618</div> <div>619</div> <div>620</div> <div>621</div> <div>622</div> <div>623</div> <div>624</div> <div>625</div> <div>626</div> <div>627</div> <div>628</div> <div>629</div> <div>630</div> <div>631</div> <div>632</div> <div>633</div> <div>634</div> <div>635</div> <div>636</div> <div>637</div> <div>638</div> <div>639</div> <div>640</div> <div>641</div> <div>642</div> <div>643</div> <div>644</div> <div>645</div> <div>646</div> <div>647</div> <div>648</div> <div>649</div> <div>650</div> <div>651</div> <div>652</div> <div>653</div> <div>654</div> <div>655</div> <div>656</div> <div>657</div> <div>658</div> <div>659</div> <div>660</div> <div>661</div> <div>662</div> <div>663</div> <div>664</div> <div>665</div> <div>666</div> <div>667</div> <div>668</div> <div>669</div> <div>670</div> <div>671</div> <div>672</div> <div>673</div> <div>674</div> <div>675</div> <div>676</div> <div>677</div> <div>678</div> <div>679</div> <div>680</div> <div>681</div> <div>682</div> <div>683</div> <div>684</div> <div>685</div> <div>686</div> <div>687</div> <div>688</div> <div>689</div> <div>690</div> <div>691</div> <div>692</div> <div>693</div> <div>694</div> <div>695</div> <div>696</div> <div>697</div> <div>698</div> <div>699</div> <div>700</div> <div>701</div> <div>702</div> <div>703</div> <div>704</div> <div>705</div> <div>706</div> <div>707</div> <div>708</div> <div>709</div> <div>710</div> <div>711</div> <div>712</div> <div>713</div> <div>714</div> <div>715</div> <div>716</div> <div>717</div> <div>718</div> <div>719</div> <div>720</div> <div>721</div> <div>722</div> <div>723</div> <div>724</div> <div>725</div> <div>726</div> <div>727</div> <div>728</div> <div>729</div> <div>730</div> <div>731</div> <div>732</div> <div>733</div> <div>734</div> <div>735</div> <div>736</div> <div>737</div> <div>738</div> <div>739</div> <div>740</div> <div>741</div> <div>742</div> <div>743</div> <div>744</div> <div>745</div> <div>746</div> <div>747</div> <div>748</div> <div>749</div> <div>750</div> <div>751</div> <div>752</div> <div>753</div> <div>754</div> <div>755</div> <div>756</div> <div>757</div> <div>758</div> <div>759</div> <div>760</div> <div>761</div> <div>762</div> <div>763</div> <div>764</div> <div>765</div> <div>766</div> <div>767</div> <div>768</div> <div>769</div> <div>770</div> <div>771</div> <div>772</div> <div>773</div> <div>774</div> <div>775</div> <div>776</div> <div>777</div> <div>778</div> <div>779</div> <div>780</div> <div>781</div> <div>782</div> <div>783</div> <div>784</div> <div>785</div> <div>786</div> <div>787</div> <div>788</div> <div>789</div> <div>790</div> <div>791</div> <div>792</div> <div>793</div> <div>794</div> <div>795</div> <div>796</div> <div>797</div> <div>798</div> <div>799</div> <div>800</div> <div>801</div> <div>802</div> <div>803</div> <div>804</div> <div>805</div> <div>806</div> <div>807</div> <div>808</div> <div>809</div> <div>810</div> <div>811</div> <div>812</div> <div>813</div> <div>814</div> <div>815</div> <div>816</div> <div>817</div> <div>818</div> <div>819</div> <div>820</div> <div>821</div> <div>822</div> <div>823</div> <div>824</div> <div>825</div> <div>826</div> <div>827</div> <div>828</div> <div>829</div> <div>830</div> <div>831</div> <div>832</div> <div>833</div> <div>834</div> <div>835</div> <div>836</div> <div>837</div> <div>838</div> <div>839</div> <div>840</div> <div>841</div> <div>842</div> <div>843</div> <div>844</div> <div>845</div> <div>846</div> <div>847</div> <div>848</div> <div>849</div> <div>850</div> <div>851</div> <div>852</div> <div>853</div> <div>854</div> <div>855</div> <div>856</div> <div>857</div> <div>858</div> <div>859</div> <div>860</div> <div>861</div> <div>862</div> <div>863</div> <div>864</div> <div>865</div> <div>866</div> <div>867</div> <div>868</div> <div>869</div> <div>870</div> <div>871</div> <div>872</div> <div>873</div> <div>874</div> <div>875</div> <div>876</div> <div>877</div> <div>878</div> <div>879</div> <div>880</div> <div>881</div> <div>882</div> <div>883</div> <div>884</div> <div>885</div> <div>886</div> <div>887</div> <div>888</div> <div>889</div> <div>890</div> <div>891</div> <div>892</div> <div>893</div> <div>894</div> <div>895</div> <div>896</div> <div>897</div> <div>898</div> <div>899</div> <div>900</div> <div>901</div> <div>902</div> <div>903</div> <div>904</div> <div>905</div> <div>906</div> <div>907</div> <div>908</div> <div>909</div> <div>910</div> <div>911</div> <div>912</div> <div>913</div> <div>914</div> <div>915</div> <div>916</div> <div>917</div> <div>918</div> <div>919</div> <div>920</div> <div>921</div> <div>922</div> <div>923</div> <div>924</div> <div>925</div> <div>926</div> <div>927</div> <div>928</div> <div>929</div> <div>930</div> <div>931</div> <div>932</div> <div>933</div> <div>934</div> <div>935</div> <div>936</div> <div>937</div> <div>938</div> <div>939</div> <div>940</div> <div>941</div> <div>942</div> <div>943</div> <div>944</div> <div>945</div> <div>946</div> <div>947</div> <div>948</div> <div>949</div> <div>950</div> <div>951</div> <div>952</div> <div>953</div> <div>954</div> <div>955</div> <div>956</div> <div>957</div> <div>958</div> <div>959</div> <div>960</div> <div>961</div> <div>962</div> <div>963</div> <div>964</div> <div>965</div> <div>966</div> <div>967</div> <div>968</div> <div>969</div> <div>970</div> <div>971</div> <div>972</div> <div>973</div> <div>974</div> <div>975</div> <div>976</div> <div>977</div> <div>978</div> <div>979</div> <div>980</div> <div>981</div> <div>982</div> <div>983</div> <div>984</div> <div>985</div> <div>986</div> <div>987</div> <div>988</div> <div>989</div> <div>990</div> <div>991</div> <div>992</div> <div>993</div> <div>994</div> <div>995</div> <div>996</div> <div>997</div> <div>998</div> <div>999</div>	
はがき種・枚数設定		
注文手続き		
サービス料金		
受取り方法設定		
受取り方法・ミニラボ		
サポートEメール		
リンク情報		

【図 3】



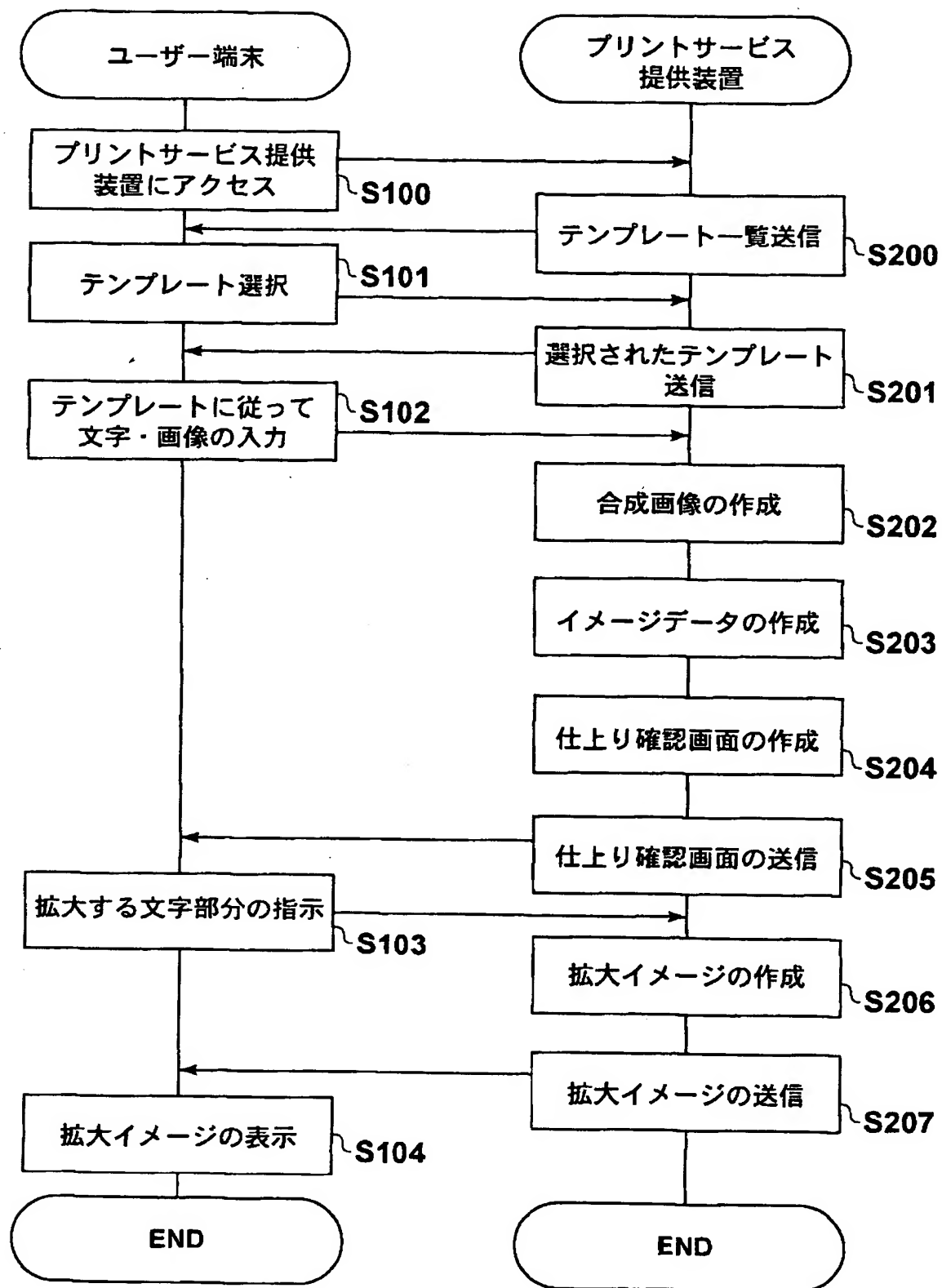
【図4】

差出人情報拡大表示	
<div>〒258-8538 神奈川県足柄上郡開成町宮台798-56 フレジデンス開成A棟-303 富士 太郎・花子 一郎（六歳） 次郎（二歳） TEL(0465)85-2128/PHS(070)8953-2525 E-mail taro@e-mail.ne.jp/hanako@e-mail.ne.jp</div>	
224	閉じる

【図5】

あいさつ文拡大表示	
<div>今年もよろしくお願いいたします。</div>	
223	閉じる

【図 6】



【図7】

ネットポストカード

■挨拶文の編集

挨拶文:

挨拶文は40文字以内です。

機種依存文字／第三水準文字は使用できません。
 例: I、II、III、①、②、③、(株)、(有)、高、崎、濱など

▼

フォント(?)

文字色:

■	■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■	■	■

選択した色:

■

☒ OK

【図8】

ネットポストカード

■差出人情報の編集

ポストカードの差出人情報欄に印刷する情報を設定できます。
「入力完了」を押すと変更した情報を更新します。

名前/住所のレイアウト

郵便番号: 250 - 0103

住所自動入力

住所: 神奈川県南足柄市壺下一二四三
エスポワールみなみD-103

氏名:

姓: 富士 名: 太郎 連名: 花子 (旧姓 宮台)
連名: 連名: ()
連名: 連名: ()

電話番号1: ☐ Tel ☒ Tel&FAX 0465-85-2128 ☒ 表示しない

電話番号2: ☐ Tel ☐ 携帯 ☒ PHS ☐ FAX 080-9876-6543 ☐ 表示しない

Eメール等: ktanaka@miya.fujifilm.co.jp

機種依存文字／第三水準文字は使用できません。
例: I、II、III、①、②、③、(株)、(有)、高、崎、嶺など

フォント: 丸ゴシック体 ▼ フォント(?)

文字色:

選択した色: あ-1

キャンセル OK

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 文字と画像を合成した合成画像の仕上がりを、著作権のあるキャラクター等を拡大することなく、ユーザが入力した文字部分のみを拡大して確認することができるようにする。

【解決手段】 画像と文字とを合成した合成画像 2 4 0 を作成するために、ユーザ端末 3 で、テンプレート 2 2 0 に従って、合成画像 2 4 0 に合成する文字を入力する。プリントサービス提供装置 2 では、合成画像 2 4 0 のイメージデータを作成し、ユーザ端末 3 に送信する。さらに、ユーザ端末 3 からの指示により、文字部分を拡大した拡大イメージデータを作成してユーザ端末 3 に送信する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2003-079580
受付番号	50300467133
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成15年 4月 1日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成15年 3月24日
【特許出願人】	
【識別番号】	000005201
【住所又は居所】	神奈川県南足柄市中沼210番地
【氏名又は名称】	富士写真フイルム株式会社
【代理人】	申請人
【識別番号】	100073184
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-3 新横 浜KSビル 7階
【氏名又は名称】	柳田 征史
【選任した代理人】	
【識別番号】	100090468
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-3 新横 浜KSビル 7階
【氏名又は名称】	佐久間 剛

次頁無

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[000005201]

1. 変更年月日 1990年 8月14日

[変更理由] 新規登録

住 所 神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名 富士写真フイルム株式会社